



令和7年1月30(木) 川崎市立西丸子小学校

TEAMにしまるこ

川崎市立西丸子小学校 校長 筒井 愛子

立春が近づき、校長室前の梅の蕾を見て、「いつ開くかな。」と、毎日心待ちにしています。子どもたちにも、「私は気づいていないけど、見つけたら、教えてね。」とお願いをしたところです。

さて、先日は、書初め展にお越しいただき、ありがとうございます。私も、1年生から順に鑑賞しましたが、1年間の成長の大きさを改めて感じたところです。まず、1年生ですが、入学から1年近く経つと、こんなにもしっかりと文字が書けるようになるものかと感心しました。その後に見た2年生の作品は、かなり小さくなったマスの中に、整った文字が書かれていて、別格だなあと感じました。3年生からは毛筆になりますが、入門期でも10ヶ月の成長は大きく、基本のねやはらいがよくできていました。4年生ではさらにバランスが良くなり、見栄えが違います。5年生は、自分らしさもそこに加わり、堂々としています。さすが、6年生は、バランスも個性も素晴らしく、気迫まで伝わってくるようでした。平日開催でしたので、見学の機会を逃した方は、ぜひ、こんな視点で、お子さんの作品のご鑑賞をお楽しみください。

また、先日は、学校評価アンケートへのご回答にご協力いただき、ありがとうございます。集計がほぼ終了し、分析に入っております。詳しくは、学校報告会にてお話させていただきますが、本年度は、「児童」の回答の自己評価の部分が、例年に比べて高かったことが特徴の一つといえます。子どもたちが笑顔で学校に通う姿は、保護者の皆様、私たち職員の最高の喜びではないでしょうか。「保護者の皆様と私たち教職員とは、ONE TEAMです。対戦相手は、お互いではなく、児童の安心安全を阻むものすべてです。目指している方向は同じです。うまくいかない時は、話し合って、作戦を変更する必要があります。」これは、毎年、説明会等でお話させていただいていることですが、西丸子の保護者の皆様は、この「作戦変更」にすぐに応えてくださり、早い段階で「作戦会議」ができるため、子どもたちが困っていることに、早期対応ができます。記述アンケートでも、心温まるお言葉をたくさんいただき、教職員の意欲にもつながっています。また、保護者の皆様だけでなく、地域の皆様も、ONE TEAMを意識してくださり、本当にありがたいです。先日、市の校長会のレポートで、「にしまるコミスク」の活動を紹介させていただきました。

その他、記述アンケートでは、運動会や連合行事について、いくつかのご意見をいただきました。ご存じの通り、日本の学校教育は、「学習指導要領」に基づいて行われています。これは、「どの地域でも、一定水準の教育が受けられるようにするため」の基準で、各学校はこれに基づいて、カリキュラム編成を行います。学習指導要領は、約10年ごとに改訂されるため、学校のカリキュラムも、ここに合わせていく必要があります。「グローバル化」「情報化」など、社会の変化に合わせて、学校教育も変えざるを得ないということです。「〇〇がなくて、寂しい。物足りない。」などのご意見もいくつかいただきましたが、実は、教員も気持ちは同じです。ただ、時間は無限ではないため、何か新しいものを入れるためには、切らなければならないものもあります。教育活動に無駄はなく、どれも捨てがたいところですが、その都度、職員でよく話し合い、泣く泣く諦めるものもあります。そんな裏事情も、どうぞご理解ください。

皆様の評価をいただき、学校では、次年度に向けた準備を着々と進めております。職員一同、さらに邁進してまいりますので、変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。